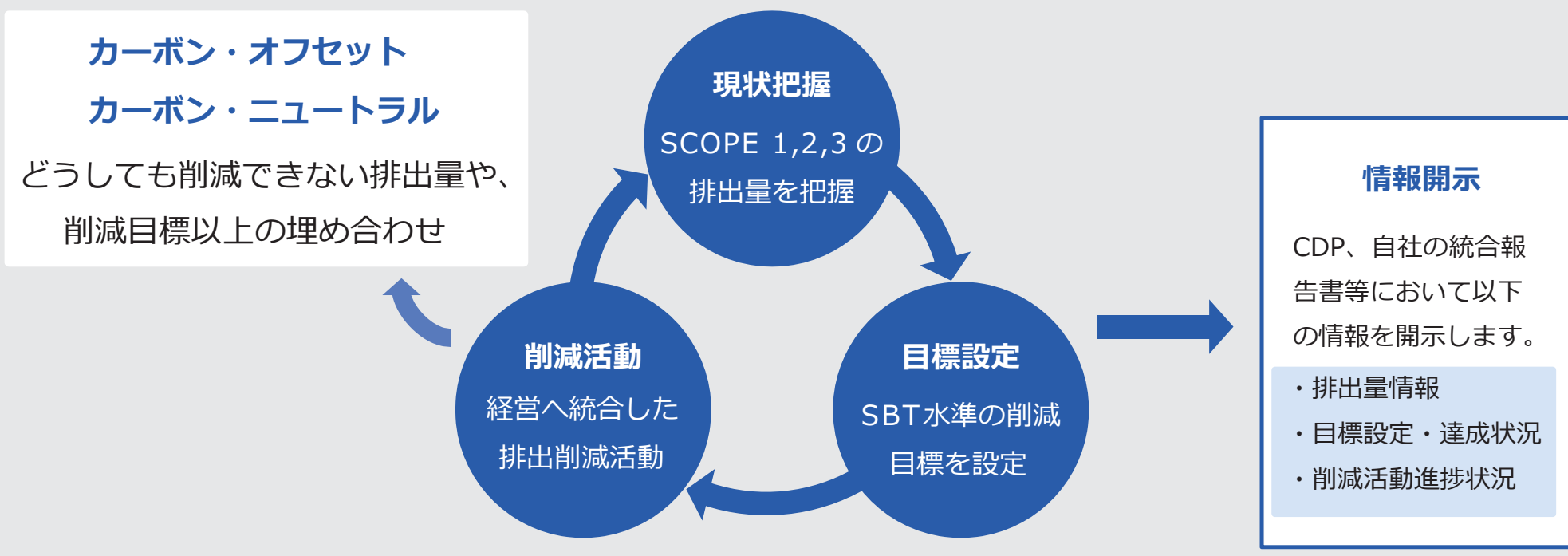


## ウェイストボックスが考える組織の排出量把握・管理・情報開示サイクル (カーボンマネジメント)



ウェイストボックスでは、サプライチェーン排出量の現状を把握し、削減目標の設定と削減活動の実践、活動成果の反映等により排出量を管理し、一連の取り組みと成果を情報開示する、「カーボンマネジメント」のサイクルを回していくことが大切であると考えており、それぞれの段階に対応したサービスをご提供しています。

## SBTとは？

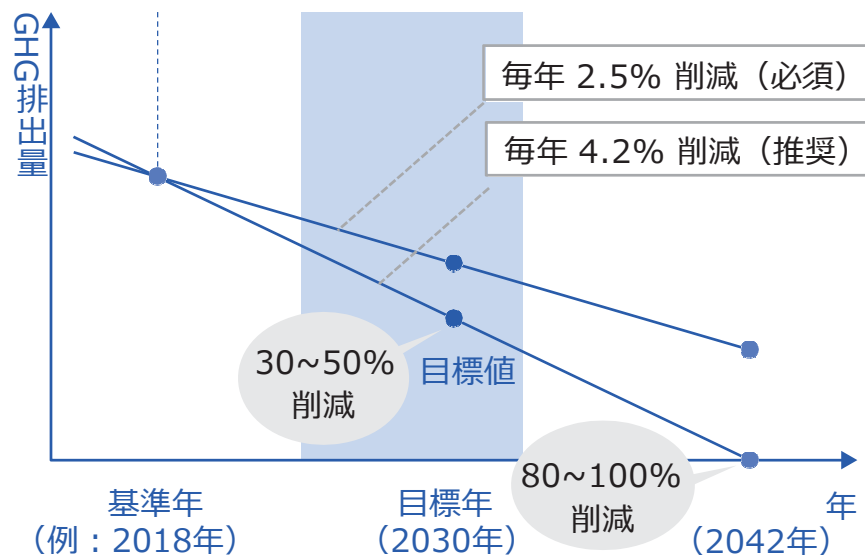
SBT (Science Based Targets)とは、産業革命時期比の気温上昇を2℃を十分に下回り1.5℃に抑えるために、気候科学 (IPCC) に基づく削減シナリオと整合した中長期の削減目標を持つこと。（パリ協定が求める水準。）

年率2.5%～4.2%の削減率で、基準年から5～15年先の目標を設定する。

例えば、2018年を基準年にすると、2030年に約30～50%削減、2042年に80～100%削減の目標となる。

### SBT の削減経路例

- 01 設定手法を選択
- 02 削減経路を算出
- 03 SBT目標年を公表年より5年～15年の範囲から選択
- 04 目標値の決定



## 支援の基本的なステップ

- 1 SCOPE 1,2,3 (サプライチェーン排出量) の把握状況の確認
- 2 SBTの補足説明、自主目標等の設定状況のヒアリング
- 3 経営層を含めた合意形成
- 4 SBTイニシアティブへのコミットメントレターの作成・提出
- 5 目標案についてのディスカッション
- 6 目標提出フォームの作成、提出
- 7 進捗情報開示、定期的に目標妥当性確認

## CDPとは?

2000年ロンドンで設立したNGO。グローバルに展開。CDP署名の機関投資家に代わり、世界の上位企業に質問書を送付し、回答を要請。



### 世界の上位上場企業

<日本の場合>

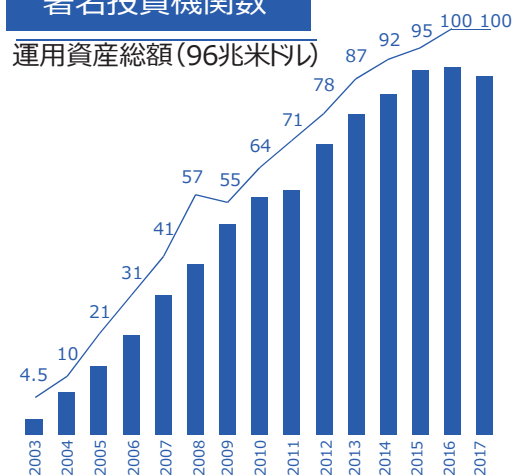
- ・対象企業：500社
- ※FTSE ジャパンインデックスを基準に選出
- ・回答企業：316社
- ・回答率：63%

出典：CDP 気候変動レポート 2019

### 525の機関投資家

#### 署名投資機関数

運用資産総額 (96兆米ドル)



出典：CDP 気候変動レポート 2019

## 支援の基本的なステップ

- 1 SCOPE 1,2,3（サプライチェーン排出量）の把握状況の確認
- 2 質問項目の補足説明を行いながら、回答作成のための必要情報をヒアリング
- 3 ヒアリング結果を基に回答案を作成（日本語 / 英語選択可）
- 4 CDP 回答システム上での回答入力、提出を支援
- 5 スコアが出た後、その分析と翌年に向けた対策をご提案

## CO<sub>2</sub> の見える化で、社会を変える

環境と経済の両立を通して、循環型社会及び脱炭素社会構築へ貢献していきます。

### 事業内容

- GHG 関連事業  
(SCOPE 1,2,3 把握、SBT, RE100, CDP 情報開示支援)
- 製品・サービスの排出量調査 (LCA、CFP 等)
- 排出権権利化代行 (J-クレジット創出支援等)
- カーボン・オフセットプロバイダー事業  
上記に付帯する環境コンサルティング事業

会社名 (URL)	株式会社ウェイストボックス <a href="https://wastebox.net/">https://wastebox.net/</a>
設立年月日	2006 年 2 月 2 日
拠点	【本社】 愛知県名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパークデザインセンタービル 7 階  【支社】 東京都中央区日本橋 2-1-17 丹生ビル 2 階
MAIL/ TEL/FAX	【MAIL】 <a href="mailto:info@wastebox.net">info@wastebox.net</a> 【本社】 052-265-5902 / 052-265-5903 【支社】 03-6868-0491
資本金	1000 万円
代表取締役	鈴木 修一郎



2020年6月、国内初  
中小企業向け検証ルートにて  
SBT認定取得